

米国弁護士を迎えて 「米国・日本における営業秘密と特許」

— 仮想事例に基づく両者の対比 —

技術開発で得られる研究成果は、特許法上の「発明」に該当するとともに、不正競争防止法の「技術上の情報」にも該当します。両者の共通点から、ビジネスにおいては、度々、研究成果を、発明として特許法により守るか、営業秘密として不正競争防止法により守るか、という判断に迫られます。これは日本のみならず米国でも同様です。

本セミナーでは、米国の Morgan, Lewis & Bockius LLP より弁護士 Dr. Janice Lee、岩田合同法律事務所より工藤良平弁護士をお招きし、米国と日本、それぞれの国における営業秘密と特許のシステムについて説明するとともに、仮想事例をあげて、取り得る戦略や留意点を、米国と日本で対比しながら、ディスカッション形式でお送りします。

講師：Dr. Janice Lee

米国弁護士
博士（生物医工学）

米国の大手法律事務所モルガン・ルイス知財部門のアソシエイト弁護士。バイオ・テクノロジー、化学、材料工学分野を得意とし、特許取得と特許侵害に関するサポートを専門とする他、特許ポートフォリオのマネジメント及び構築、知財デュー・デリジェンスにも従事。コーネル大学材料科学工学科を卒業後、ジョン・ホプキンス大学で博士号（生物医工学）を取得。さらにジョージタウン大学にて法務博士号を取得。韓国語と日本語も流暢。

講師：工藤 良平

弁護士（日本、米国）

岩田合同法律事務所に所属。2017年4月より辻丸国際特許事務所リーガルアドバイザー。東京大学法学部を卒業後、防衛省に入省し、法制関係の業務に従事。コロンビア大学法科大学院を終了し（LL.M.）、ニューヨーク州弁護士登録。その後、東京大学法科大学院を終了し、弁護士登録。国内・国際企業法務を中心に、知財法務にも携わっている。

講師：中山 ゆみ

弁理士、博士（医学）

化学メーカー勤務を経て、2003年に弁理士登録。辻丸国際特許事務所 副所長。バイオ・化学をはじめ幅広い分野で、特許出願、特許戦略の提案等を含めたサポートを行っている。

講師：南野 研人

弁理士、博士（生命科学）

1983年生。京都大学大学院生命科学研究科博士課程を修了し、辻丸国際特許事務所に入所。2014年に弁理士登録。国内外の企業や研究機関の特許出願に幅広く携わっている。

司会：辻丸 光一郎

弁理士、博士（工学）

1963年生。企業勤務を経て、1999年に弁理士登録。辻丸国際特許事務所を開設し、幅広い分野で、特許出願、訴訟、交渉を多数受任してきた。

また、これらの知見に基づく知財事業戦略を得意とし、多様な規模・ステージに応じたコンサルを行うほか、セミナー、知財評価、ベンチャー経営等にも携わっている。



日時：2017年5月12日（金）

14:00～17:00（13:30 受付開始）

会場：日本橋ライフサイエンスハブ

☞ 室町ちばぎん三井ビル 8階（COREDO 室町3）

定員：35名

参加費・お申込みについては、
裏面をご覧ください。